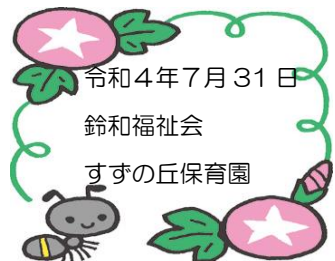




8月ほけんだより



令和4年7月31日

鈴和福祉会

すずの丘保育園

暑い日が続いています。子どもは外気温の影響を受けやすく、暑い夏には体の中の温度が早く上昇します。そのため大人よりも早く熱中症にかかりやすいのです。暑さ対策をしっかりとって夏を乗り切りましょう。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

水遊びの注意

今年の夏も新型コロナウイルスの影響で外出の機会が減り、自宅の浴槽や家庭用プールで水遊びをするご家庭も多いと思います。幼児は数cm水深でも溺れてしまうことがあるので「少しの時間だから」「兄妹が一緒にいるから」と子どもだけにすることはやめましょう。

また、熱中症を予防するために、水遊び中でも水分補給を行うようにしましょう。楽しく遊んで暑い夏を乗り切りましょう！



新型コロナウイルス

の第7波が急拡大し、新規

感染者が連日過去最多の記録を更新しています。ウイルスは現在、オミクロン株の一種で感染力が強い「BA.5」にほぼ置き換わっています。

県より、同居家族等に未診断の発熱などの症状がある場合には登園を控えるよう要請が出ておりますので、児童生徒も自宅での休養をお願いいたします。

